

スーパーフォーミュラのレースデータを活用した データサイエンティスト育成研修を初開催

国内最高峰で最速のフォーミュラカーレースシリーズである全日本スーパーフォーミュラ選手権（以下「SUPER FORMULA」）を運営する株式会社日本レースプロモーション（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：上野 禎久、以下「JRP」）は、今シーズンの開幕戦が行われた鈴鹿サーキットにて、パートナー企業である富士通株式会社及びさくらインターネット株式会社の若手社員を対象に、実際のレースにおいてレーシングマシンから取得された実データを活用したデータサイエンティスト育成研修を初めて開催いたしました。



<写真：SUPER FORMULA公式アプリ『SFgo（エスエフゴー）』では様々な情報を見ることができます>

講師は『統計学が最強の学問である』の著者であり、東京大学大学院医学系研究科医療コミュニケーション学分野助教、株式会社データビークル顧問を務める統計家の西内啓氏、ゲストに昨シーズンのチームタイトルを獲得したTEAM MUGENにてチーフエンジニアを務める小池智彦氏を迎え、実データならではの特徴を生かした演習を行いました。研修に用いられたデータは昨シーズンの最終戦においてレーシングマシンから取得されたテレメトリーデータであり、タイヤの温度や車速、ステアリングの操舵角に加え、ブレーキ・アクセルに関するデータやギアポジション、エンジンの回転数と多岐に渡りました。受講者はデータから「ラップタイムを予測する」というお題に対し、分析方法を検討しデータベースから結果を抽出するSQL※を書き出すところまで、前提となる知識の無い世界において、求められる結果を出すためのスキルを磨きました。

本研修の最大の特徴は、用いられたデータは研修用に結果が出るよう事前に整理されたデータセットではなく、異常値や欠損、データの不十分さが含まれている実データであり、かつ、受講者にとってはこれまでに経験したことがないモータースポーツ業界という未知の世界のデータであり、前提となる知識がない業界のデータにおいても安定して汎用的に求められる結果を出すことができるスキルを磨くことを目的としています。最終的には演習において**実際のラップタイムと±0.3秒に迫る精度**となる結果を得ることができました。JRPでは、こうしたスキルは他業界の販売予測などに汎用的に活用することができ、**あらゆる業界のDXの推進とそれらを支えるデータサイエンティストの育成に貢献したい**と期待を込めています。また今後、実データを用いたデータサイエンティスト育成研修の対象を一般企業へ広げ、各大会に合わせて不定期で開催いたします。データサイエンティスト育成に興味・関心のある企業様からのご要望をお待ち申し上げております。

<講師：東京大学大学院助教、株式会社データピークル顧問 西内啓氏>

現実のデータに触れることは良いデータサイエンティストを育成する上でとても重要であると同時に、参加者がこれを機にモータースポーツに関心を持ったり、レース観戦の解像度を上げることに繋がれば、産業界とモータースポーツ業界の双方にとって大きなシナジーとなると思います。



<ゲスト：TEAM MUGEN 15号車 チーフエンジニア 小池智彦氏>

サーキットでチームが実際にデータを確認する時間は限られており、人間だけではどうしても解析が追いつかないことが多いです。このような研修でもっと系統的に解析結果が出るようになれば、チームとしても価値があります。「実はセンサーデータが正しくないケースに気づかずに分析してしまう」ことは新米エンジニアにありがちなミスであり、数字ばかり見るのは本当に危険で、限られた時間を無駄にしてしまいます。実データを用いることはこうした感性も養うことができると思います。



<受講者感想>

- ・もともとモータースポーツに興味があって、業務でも走行データを扱う機会があったが、実データを使ってより深く分析できたのが非常に良かった。
- ・実データを使って価値のあるデータを見つける研修はとても面白かったし、業務に活かせると思う。
- ・実データを用いてSQLによる分析に触れられたことはもちろん、データアナリティクスの組み立て方、考え方を学べたのは非常に良かった。

※SQL：サーバー/PCなどに蓄積されているデータベースを活用するためのプログラム言語



本件に関するお問い合わせ先

株式会社 日本レースプロモーション 広報担当：上坂、上田

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-25 平安堂ビル 3F

TEL. 03-3237-0131 FAX. 03-3237-0135

E-mail. media@superformula.net